大津市図書館事業計画にかかる評価について

１．目的

図書館の基本的運営方針の実現のため、活動目標ごとの評価について、自己評価と図書館協議会による外部評価を実施し、事業計画の推進を図ります。

２．評価にかかる法的根拠

（１）図書館法

第七条の三（運営の状況に関する評価等）

図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（２）図書館の設置及び運営上の望ましい基準

第２ 公立図書館　　一　市町村立図書館　　１　管理運営

⑵　運営の状況に関する点検及び評価等

①　市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、⑴の②の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

②　市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第１４条第１項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、当該図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。

③　市町村立図書館は、前２項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

④　市町村立図書館は、第１項及び第２項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

３．　評価の実施

評価の実施にあたっては、計画（Plan）→実施（Do）→評価（Check）→改善（Action）を実行することで、図書館運営全般の評価とその結果に基づく運営の改善及び図書館サービスの向上を図っていきます。

（１）活動指標の設定

「大津市図書館の基本的運営方針」の実現に向けて掲げた５つの活動目標に基づく指標を設定し、事業の達成度を測ります。

（２）評価基準

設定した指標の達成状況等により、４段階で評価します。

Ａ　目標が達成され、十分な成果をあげた。

Ｂ　目標が概ね達成され、一定の成果をあげた。

Ｃ　目標は達成されなかったが、一定の成果をあげた。

Ｄ　目標が達成されず、十分な成果をあげることができなかった。

（３）評価方法

設定した指標等をもとに、５つの活動目標についての達成状況を図書館内で自己評価をします。その内容を大津市図書館協議会で報告します。また、図書館協議会による外部評価を実施し、事業計画の推進を図ります。

（４）令和７年度事業評価の結果について

【評価結果一覧】

評価項目	自己評価			外部評価
	本館	北館	和邇館	
活動目標１ 市民の学びに応える図書館	B	B	B	B
活動目標２ だれもが利用できる図書館	A	A	B	A
活動目標３ 魅力あふれるまちづくりを支える図書館	A	A	A	A
活動目標４ 子どもの育ちを支援する図書館	B	A	B	B
活動目標５ 市民とともにつくる図書館	A	A	A	A

【活動目標ごとの評価シート】　　別紙のとおり

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画　令和7年度評価シート

活動目標	1．市民の学びに応える図書館
主な取組み	①幅広い資料の収集と保存 ②資料・情報提供の充実 ③レファレンスの充実 ④図書館職員の資質向上

Ⅰ　図書館（本館）

1　主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1) 令和7年度の取組状況

① 幅広い資料の収集と保存
- 利用者ニーズの適正な把握と要望に的確に応えるための蔵書構成と資料費の確保
- 新鮮な図書の蔵書構成に努めるため、丁寧な除籍作業の実施
- 除籍資料の館内外におけるリサイクル譲渡会事業の実施
- SNS等を活用した積極的な情報発信
- 新刊本の受入情報・本の紹介と合わせたSNSでの情報発信。図書館ホームページへのおすすめ本リストの掲載

② バリアフリー資料の充実と資料活用に係る広報等の展開
- バリアフリー図書の収集及びバリアフリー資料の紹介展示
- 大活字本（135点）、バリアフリーDVD（10点）、洋書（55点）、LLブック（11点）等の購入

電子図書の小中学校での利用促進
- 複数同時アクセスが可能な児童書のマルチライセンス型コンテンツの拡充（朝読書や調べ学習に活用できるコンテンツの選書）

③ レファレンスツールの整備
法令の改正や参考資料の改訂にあわせた購入

④ 外部研修等への積極的な参加
- 滋賀県立図書館、滋賀県公共図書館協議会、国立国会図書館主催研修その他zoom研修の受講
- 館内整理日を活用した職員全体研修の実施　（レファレンス研修、著作権研修、手話講座、交通安全研修）

(2) 課題と今後の展開

① 収集資料を広く知ってもらうための展示及び関連事業並びに広報活動の積極的な展開
図書館資料の収蔵力に対応した除籍作業の慎重かつ適正な実施

② 利用者の読書要求に応えるための読書相談やレファレンス等業務の適正かつ丁寧な応対

③ 参考資料室を中心としたレファレンスツールの整備や資料の充実

④ 職員の資質及び能力向上のための館内研修の実施及び外部研修への積極的な参加
（多様化する利用者ニーズの的確な把握、情報の真偽の判断力、適正な情報の収集力）

(3) 令和8年度事業計画

① 幅広い資料の収集と保存
- 利用者ニーズの適正な把握と要望に的確に応えるための蔵書構成と資料費の確保　継続

② バリアフリー資料の充実と資料活用事業及び広報の展開
- 電子図書の小中学校での利用促進を更に図るため電子図書マルチライセンス型コンテンツの充実　継続
- 参考資料室及び2階大津市郷土資料コーナーを中心とした郷土資料の充実　拡充

③ レファレンスツールの整備
- 法令の改正や参考資料の改訂にあわせた購入　継続

④ 外部研修等への積極的な参加
- 外部研修への参加（オンライン受講含む）　継続
- 館内整理日を活用した職員研修の実施　継続

※ SNS等を利用した情報発信（①②③共通）　拡充

2　指標　（単位：冊）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績 （前年度比）	達成率	目標
貸出冊数	809,184	835,000	785,476 (97.1%)	94.1%	803,000
蔵書冊数	537,840	522,000	543,896 (101.1%)	104.2%	522,000

３　自己評価	達成状況	B

幅広い資料の収集においては、様々な選書ツールを用いて利用状況をみながら魅力ある蔵書構成に努め、利用者のリクエストに応え購入や相互貸借にも努めた。新鮮で魅力ある蔵書構成を保ち、除籍資料については活用できる資料は市民に提供を行い多くの方々に活用いただき好評であった。7,190冊提供（雑誌・旅行書、図書含む）

電子図書館では、マルチライセンス型コンテンツを充実させるとともに図書館の展示本とリンクするよう電子図書館内に特集バナーを設置して利用促進を図った。併せてバリアフリー資料及び郷土資料の収集を充実させ、資料の展示と併せてワークショップや講演会等を開催して周知活動を行うことができた。

職員の資質向上については、市民の読書要求に応えるべく館内研修や外部の実地及びZOOM研修に積極的に参加し資質向上に努めた。

上記取り組みを行った結果、個々の活動の成果はみられたものの貸出冊数が目標値に達することが出来なかった。

今後も図書館サービスの充実と情報発信を積極的に行い、魅力ある図書館の蔵書構成に努め利用促進に繋げていきたい。

Ⅱ　北図書館

１　主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1) 令和7年度の取組状況

① 利用者ニーズの適正な把握と要望に応えた幅広い資料の収集

・限られたスペースで効果的にサービスが提供できるよう、幅広い資料の収集に努めた。

・書架を新鮮に保つため、適切に書庫入・除籍を行った。

② 館内展示、読書案内の作成

・館内で資料や情報を分かりやすく掲示し、資料提供の充実に努めた。

・北図書館利用案内の全面改訂実施（一般向け）

・除籍資料を譲渡する「本のミニリサイクルコーナー」を設置し、最終の資料提供を行った。

・「北図書館おたのしみ袋」実施（一般49袋、児童49袋）

③ レファレンス環境の充実

・レファレンス用カウンターや公開端末の設置等、市民の活動を支援するための資料・情報の提供に努めた。

④ 外部研修への積極的参加、館内整理日を活用した職員研修の実施

・ 館内外の研修に積極的に参加した。

・受講した研修内容を館内で共有し館全体の資質向上に努めた。

(2) 課題と今後の展開

① 法改正や社会状況の変化に対応できるよう必要な資料の除籍・買換えを行う。

② 幅広い資料の収集と、地域の情報提供に努める。

③ レファレンスツールの更新と職員のスキルアップ

④ 館内外の研修への参加に努める。

(3) 令和8年度事業計画

① 利用者ニーズの適正な把握と要望に応えた幅広い資料の収集	継続
② 洋書コーナーの資料更新	新規
③ 館内展示、読書案内の作成	拡充
④ レファレンスツールの充実	継続
⑤ 研修への積極的参加	継続

２　指標

（単位：冊）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績（前年度比）	達成率	目標
貸出冊数	356,955	372,000	349,358（97.9%）	93.9%	353,000
蔵書冊数	176,667	177,000	178,205（100.9%）	100.7%	177,000

３　自己評価	達成状況	B

市民の読書要求に応えるため、幅広い資料の充実に努めるとともに、他館との相互貸借を積極的に活用しながら、効率的かつ効果的な資料提供を行い、また、多様化する市民の調査・研究に対応するため、レファレンスの資料の充実に努めた。

図書館の専門知識やバリアフリーなどサービスに不可欠な一般的知識を養い、図書館職員の資質向上を図った。

Ⅲ 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1) 令和7年度の取組状況

① 各ジャンルに沿った幅広い資料の収集
- 蔵書・配架方法の見直し（今年度は開架図書と倉庫の0類、5類、参考資料の除籍と整理）
- 破損・汚損本の買換え
- 選書会議の見直し

② 館内展示（成人・児童）、多読資料の活用講座、新刊案内や読書案内等の作成
- 館内展示（成人・児童）や「図書館だより」「くらぽ」「夏休み読書案内」の発行、「時代小説文庫一覧」の更新、「英文多読資料リスト」の作成
- 「はじめてのえほんセット」の貸出
- 料理の棚の配架方法の見直し

③ レファレンスサービスについての啓発
- 読書週間に「分類ビンゴ」イベントを行い、日本十進分類法について啓発した。
- 「図書館だより」にレファレンスブックの紹介を掲載した。

④ 館内研修・館外研修への積極的な参加
- 各職員が事業を企画・提案し館内会議で検討した。
- 本館研修・滋賀県立図書館専門分野実務研修に参加し、館内会議で成果を報告した。

(2) 課題と今後の展開

① ・図書館全体の収容冊数を確認し、適正な蔵書計画をたてる。
・バリアフリー資料への理解を深め、幅広い資料を収集する。

② ・館内展示や新刊案内、ブックリストなどの発行の継続のほか、新たな本のリストを作成する。
・電子図書やオーディオブックの利用の啓発。

③ ・レファレンス記録のデジタル化の検討
・地域の情報や郷土の歴史についてのレファレンスをまとめる。

④ ・来年度の目標と主な取り組みについて館内で共有し、全職員で協力して進めていく。
・各種図書館サービスやテーマに応じた研修の受講による職員の資質向上を図り業務に活かす。
・研修で学んだことを共有し、実務に生かせるよう、報告会を行う。

(3) 令和8年度事業計画

① 各ジャンルに沿った幅広い資料の収集	継続
保存資料の検討	新規
② 館内展示（成人・児童）	継続
「図書館だより」「くらぽ」「夏休み読書案内」の作成	継続
③ 郷土・地域関係のパスファインダーの作成	新規
④ 館内研修・館外研修への積極的な参加	継続

2 指標

（単位：冊）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績（前年度比）	達成率	目標
貸出冊数	264,528	311,000	258,250 (97.6%)	83.0%	147,000
蔵書冊数	200,002	201,000	201,904 (101.%)	100.4%	201,000

3 自己評価

達成状況：B

開架スペースを整理し、配架方法の見直しなどを行った。引き続き、利用者自身でも目当ての本が見つけやすく、また本棚の間を歩いているだけで思いがけない本と出合えるような棚づくりを行う。
閉架書庫の本を整理し、複本がある資料や汚損の激しい資料は大幅な除籍を行った。閉架のスペースをこれ以上増やすことが困難であるため、蔵書冊数を増やしていくことは難しいが、地域性、今求められている資料、保存すべき資料を吟味して限りある閉架スペースの有効活用に努めていく。
今年度は限られた職員しか参加できなかったが、なるべく多くの職員が館外の研修に参加できるよう、積極的にオンライン講座を活用する。

4 図書館協議会の意見（総評）

達成状況：B

令和2年度から電子図書を導入されているが、導入以降も紙の資料費とは別に電子図書経費を確保され、令和4年度からは紙の本の決算額も大幅に増額となっている。他市では資料費の減額を余儀なくされている中、それ以降も維持され、図書の充実に尽力されていることが伺える。
館内レイアウトの工夫や自己研鑽のための研修に積極的に参加されるなど、全館において図書館サービスの向上に努められたが、貸出冊数については、目標値に届かずB評価とする。

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画　令和7年度評価シート

活動目標	2. だれもが利用できる図書館
主な取組み	①図書館への来館が困難な人へのサービスの展開 ②障害者サービスへの展開 ③高齢者へのサービスの展開

Ⅰ　図書館（本館）

1　主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1) 令和7年度の取組状況

① 移動図書館さざなみ号出前特別巡回の実施
・スポット巡回（4か所）、季節巡回（10か所）、出前巡回（デイセンターなど4か所）、特別巡回（ブランチ大津京、レイクウェル堅田など4か所）

② 電子図書及びオーディオブックの普及啓発
・電子図書コンテンツの充実（595コンテンツ購入）
・電子図書マルチライセンス型コンテンツの導入（259コンテンツ（内数））

③ バリアフリー資料の整備と利用促進に繋がる情報発信
・大活字本　135点購入、バリアフリーDVD　10点購入
・朗読ボランティアによるとしょかんまつり「おとなのための朗読会」の実施
・バリアフリー映画会（字幕、音声ガイド付き）の上映　3回／年

④ 高齢者事業（通年にわたる講座の実施）
・連続講座の実施　年間6回　延べ253人参加

(2) 課題と今後の展開

・移動図書館の利用促進
・出前講座を活用した移動図書館さざなみ号特別巡回及びスポット巡回の実施と発信
・図書館の利用促進につながる環境の整備（移動図書館出前巡回、バリアフリー資料の収集、バリアフリー映画会の開催等）
・電子図書及びオーディオブックの利用促進と電子図書マルチライセンス型コンテンツの充実
・バリアフリー資料等の充実と利用につながる情報発信
・図書館での高齢者向け講演会及びワークショップ事業の継続
・図書館来館への動機付けや居場所づくりのための外部講師による多彩な事業の開催
・本市の施策や郷土への関心の醸成につながる講座の開催
・読書の楽しみにつながる事業の展開

(3) 令和8年度事業計画

① 移動図書館さざなみ号出前特別巡回の実施
・市主催イベントへの参画や商業施設等出前巡回の実施　継続

② 電子図書及びオーディオブックの普及啓発
・電子図書コンテンツの追加　継続

③ バリアフリー資料の整備と利用促進につながる情報発信
・バリアフリー映画会（字幕、音声ガイド付き）の上映　拡充

④ 高齢者事業（通年に渡る講座の実施）
・郷土資料や本市の施策に関連した資料の収集と提供事業の充実　拡充

2　指標　（単位：人、回）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績 （前年度比）	達成率	目標
来館者数	238,500	230,000	243,800 （102.2%）	106.0%	241,000
図書館利用促進につながる事業回数	364	300	349 （95.9%）	116.3%	360

3　自己評価　　達成状況　A

電子図書館については、非来館型サービスとしていつでもどこでも読書ができる環境の整備とバリアフリー機能の活用、小中学生向けマルチライセンス型コンテンツの拡充を行い、朝読書など利用が集中するタイミングでも利用を妨げることのないよう努めることができた。
高齢者等向け事業については利用者アンケートを取った結果、満足度が高い結果となった。また今後の事業を継続するうえでニーズを把握できたことにより今後の講座内容を充実させ、更なる来館への動機付けに役立てていきたい。またバリアフリー資料収集や啓発事業についても行うことができた。

Ⅱ 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1) 令和7年度の取組状況

① 小中学校への定期配本・福祉施設等への団体貸出の実施

② 大活字本の定期的な購入

バリアフリー資料等の整備と利用促進につながる情報発信

③ 高齢者向けの催しの実施

・北老人福祉センターでの紙芝居等による出前おはなし会実施

・「小さな映画会」開催

(2) 課題と今後の展開

① 小中学校等への定期配本の利用促進

出前講座を活用した図書館案内の実施

② バリアフリー資料等の整備充実

電子図書及びオーディオブックの利用促進

③ 高齢者施設との連携による図書館の利用促進

高齢者向け資料の充実

(3) 令和8年度事業計画

① 小中学校等への定期配本による団体貸出の実施	継続
② 大活字本の定期的な購入	継続
バリアフリー資料等の整備と利用促進につながる情報発信	継続
③ 高齢者向けの催しの実施	継続

2 指標 （単位：人、回）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績（前年度比）	達成率	目標
来館者数	187,850	180,000	194,007 (103.3%)	107.8%	187,000
図書館利用促進につながる事業回数	141	120	148 (105.%)	123.3%	140

3 自己評価 達成状況 A

JR堅田駅西口広場前のブックポストは多くの方にご利用いただいており、図書館の利便性の向上に繋がった。
また、大活字本や紙芝居の提供により、幅広い市民が図書館を利用できるよう努めた。
高齢者施設で出前おはなし会を実施し、来館が困難な高齢者へのサービスを進めることができた。

Ⅲ 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1) 令和7年度の取組状況

① ・移動図書館の運行

・学校・園、児童クラブなどへの団体貸出（再掲）

② 大活字本、朗読CD、点字図書、LLブック などバリアフリー資料の収集

・大活字本、朗読CD、バリアフリーDVDなどバリアフリー資料リストの作成

・「テープ版図書館だより」の作成

・バリアフリー映画会の定期 開催と障害者団体への広報

③ 高齢者向けの催しの開催、高齢者施設へのサービス

・「和邇図書館いきいき健康講座」（3回連続講座）の開催

・映画会「名画の窓」、おりがみ教室の開催

・高齢者施設への団体貸出、移動図書館の運行

(2) 課題と今後の展開

① 移動図書館・電子図書館利用のPR
地域の社会福祉施設等へも団体貸出をPRし、来館が困難な方への読書機会を確保する。

② さまざまな分野の大活字本、LLブックなど、バリアフリー資料の収集（再掲）
職員のバリアフリー意識を高め、来館者へのサービスの向上につなげる。
「バリアフリーDVD」の積極的な購入・定期的な上映会の開催

③ 高齢者を対象とした事業を開催し、図書館利用と健康を推進する。
高齢者施設との連携を図り、図書館の利用を促進する。

(3) 令和8年度事業計画

① 移動図書館の運行	継続
高齢者施設等への配本	拡充
② 大活字本、朗読CD、点字図書などバリアフリー資料の収集	継続
バリアフリー映画の定期的な上映会	継続
③「名画の窓」の開催	継続
高齢者向けの催しの開催	拡充

2 指標 （単位：人、回）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績（前年度比）	達成率	目標
来館者数	88,789	90,000	87,411 (98.4%)	97.1%	47,000
図書館利用促進につながる事業回数	163	140	160 (98.2%)	114.3%	90

3 自己評価	達成状況	B

誰もが利用できる図書館を目指して、移動図書館の運行や障害者・高齢者向けの事業、バリアフリー資料の収集などを行った。
特に、令和7年度は高齢者サービスを中心に事業を行った。3月には講師を招いて全3回の「和邇図書館いきいき健康講座」を開催し、多くの参加者があった。
来年度以降も引き続き様々な高齢者向け講座を企画したい。また、地域の高齢化が進み、図書館への来館が困難な方が増えている。
高齢者が集まる施設等への配本を検討し、いつまでも読書を楽しめるようサービスを進めていく。

4 図書館協議会の意見（総評）	達成状況	A

利用者の拡大に向け、小中学校への団体貸出のほかにも、高齢の方へのサービスとして老人福祉センターへの出前おはなし会を開催するなど、来館が困難な方への具体的なアプローチにも取り組まれている。図書館において活動団体と施設を繋いでいただけると、より多くの方に図書館をご利用いただけるのではないか。
電子図書の年齢別貸出点数では、小学校高学年に次いで60代の利用が多くなっており、この世代の利用がなぜ多いのかなどを分析し、利用が少ない年代にどのように浸透させていくのか検討いただきたい。
多文化サービスの視点で、国際関係団体や園・学校現場などと連携しながら、誰もが利用できる図書館サービスの充実・開拓を検討いただきたい。
指標の来館者数においては、様々な館外事業にも取り組まれ多くの市民に図書館サービスをご利用いただいているが、これらは来館者数として含まれず、和邇図書館の来館者数は目標値に到達していないが、利用促進のための努力を惜しまず取り組まれた実績から、大津市全体としてA評価とする。

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画　令和7年度評価シート

活動目標	3. 魅力あふれるまちづくりを支える図書館
主な取組み	①郷土資料及び行政資料の収集・整備 ②行政・公共機関等との連携 ③地域資源を活用した運営

Ⅰ　図書館（本館）

1　主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1) 令和7年度の取組状況

① 郷土資料及び行政資料の収集、利用者への提供

② 市関係所管課及び公共機関との連携事業

・施策推進資料及び関連図書の展示、講演会、図書資料の団体貸出等（展示23回、事業実施12回）

・学びの継続や発展のための市関連事業関連図書等の資料集及び展示

文学のまち大津関連（湖都の葉マルシェ・石山寺）・障害福祉（手話言語・自閉症啓発）・男女共同参画・認知症啓発・健康推進・自殺対策等

・手話言語啓発事業に伴う図書館ブルーライトアップ（障害福祉課との協働）

③ 歴史博物館等の事業に関連した図書等資料の収集及び提供

・坂本城跡国史跡指定記念、琵琶湖疏水施設　国宝・重要文化財指定記念関連本の展示

（講演会 「坂本城発掘調査報告」「織豊政権と坂本城」「琵琶湖疏水施設　国宝・重要文化財指定記念」）

まちと図書館をつなぐ事業の展開

・文学のまち大津を目指した「湖都の葉マルシェ」への参画

（図書館のリサイクル本譲渡会、大津百町館でのボランティア団体によるおはなし会の開催）

(2) 課題と今後の展開

・郷土資料及び行政資料の積極的な収集・整備・保存

・社会的課題の解決支援のための庁内所管課との連携及び市民への積極的な情報発信

・庁内各所管課との連携（施策の推進）

・行政資料や郷土資料が図書館への資料収集に結びつくための地域や大津市役所庁内に向けた広報活動

・地域の歴史・文化に関する学びに対応するための、地域資源の活用及び資料収集並びにレファレンスの充実

(3) 令和8年度事業計画

① 郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供

・郷土及び行政資料の収集　拡充

・図書館資料を積極的に活用した資料展示及びレファレンス　継続

② 市関係所管課及び公共機関との連携事業

・関連図書の積極的な展示　継続

③ 歴史博物館等の事業に関連した図書等資料の収集及び提供

・学びの継続や発展につなげるための積極的な歴史博物館事業の関連図書の収集及び提供　継続

・市民が様々な場所で本に出会い、気軽に本に親しむためのまちと図書館をつなぐ事業の展開　継続

まちかどぶんぶんかん事業の実施／「文学のまち大津」をテーマにしたイベント「湖都の葉マルシェ」への参加

2　指標　（単位：回）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績（前年度比）	達成率	目標
市関係所管課及び公共機関との連携展示回数	21	15	23（109.5%）	153.3%	21

3　自己評価　　達成状況　A

市関係所管課等との連携展示については目標を達成することができた。市の行政施策の推進事業をよりわかりやすく伝える手段として図書展示コーナーだけでなく、協働して事業（講演会、ワークショップ、測定会等）を実施した。市関係所管課等との情報共有や協同事業を通じて蔵書構成の充実や、魅力あふれる図書館づくりにつながるものと考える。今後も連携事業を実施しながら地域資源の掘り起こしを行い、地域の課題解決や魅力を発信できるように一時的な取り組みに終わることなく継続して事業の推進していく。

Ⅱ 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1) 令和7年度の取組状況

① 郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供

② 庁内関係所管課・公共機関との連携事業実施

・事業のテーマに応じ館内でパネル設置・関連資料の展示を行った。

③ 北部地域文化センターでの共同事業の実施

・北部地域文化センター内4所属で「第12回ほくぶん子どもまつり」の内容企画・開催

(2) 課題と今後の展開

① 郷土資料及び行政資料の積極的な収集・整備・保存

② 庁内所管課と連携した展示の実施

③ 地域で活動する人材による講演会・展示の企画・実施

(3) 令和8年度事業計画

① 郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供	拡充
② 図書館資料を積極的に活用した資料展示	拡充
③ 市関係所管課との連携事業による関連図書の展示	継続
④ 「ほくぶん子どもまつり」の開催	継続

2 指標 （単位：回）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績（前年度比）	達成率	目標
市関係所管課及び公共機関との連携展示回数	5	5	7 (140.%)	140.0%	5

3 自己評価

達成状況	A

庁内関係所管課との連携により、行政資料を含めた情報を集約し提供することで、まちづくりの情報発信を図った。
また、北部地域文化センター内の4所属共催による「第12回ほくぶん子どもまつり」を開催し、北部地域文化センターへの来館のきっかけとすることができた。

Ⅲ 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1) 令和7年度の取組状況

① 郷土・行政資料の収集・保存・整備

・郷土・行政コーナーの整備

・郷土・行政資料の整理と保存見直し

② 市の施策推進にかかる庁内所管課との連携

・近隣の公民館だよりへの本の紹介掲載

・近隣公民館での乳幼児とその保護者向け事業への参加

・市の施策推進にかかる庁内所管課との連携展示

③ 地元著名人による講座・展示、イベントの開催

・滋賀県伝統工芸品「藤三郎紐」の講座と体験会（太田浩一さん）

・地域の切り絵作家の展示と講座（横山夢さん）

・和邇コミュニティセンター主催の写真展

・滋賀コレかるた大会の開催

・地域の音楽家によるコンサートの開催

(2) 課題と今後の展開

① 地域の情報や郷土の歴史についてのレファレンスをまとめる(再掲)

郷土行政コーナーを整理し、展示コーナーを設置して利用を促進する。

② 社会的な課題の解決への支援のため、積極的に庁内所管課と連携した展示を行う。

地域の市民センター、コミュニティセンターなどと連携し、地域資料を収集する。

③ 地域の自然や歴史、文化、特産物などを、講演会や展示など様々な方法で伝える。

地域の著名人を招き、コンサートや講座を行う。

(3) 令和8年度事業計画

① 郷土・行政資料の収集・整備	継続
郷土資料コーナーのリニューアル	新規
② 市の施策推進にかかる庁内所管課との連携	継続
③ 地域の著名人による講演会・展示	継続
歴史講座の開催	新規

2 指標 （単位：回）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績（前年度比）	達成率	目標
市関係所管課及び公共機関との連携展示回数	5	5	7（140.%）	140.0%	5

3 自己評価	達成状況	A

昨年度に引き続き、郷土資料の整備を行った。郷土資料は今後ますます需要があると思われるため、積極的な郷土資料コーナーの充実と広報に努める。
市の施策推進のための展示のほか、和邇文化センターでの催しに合わせて資料の貸出や展示を行った。また2月には和邇すこやか相談所との企画で展示と健康相談、3月には長寿政策課のリハビリテーションセラピスト出前講座を活用した「和邇図書館いきいき健康講座」を行った。今後も各課の専門家と協力した事業を行い、市民サービスの向上を図る。
地域への関心や理解が深まるよう、地域で活躍されている方を講師に招いて講座やコンサートなど、さまざまな事業を行った。

4 図書館協議会の意見（総評）	達成状況	A

図書館講座では、関連する資料を多く展示され、会場を後にされる参加者の多くの方が本を手に取っておられ、大変魅力的な取組であった。
図書館では郷土資料と並んで、行政資料の収集にも十分留意すべきであり、電子行政資料も含め、少なくとも市が発行する資料は漏れなく収集をされたい。まちづくりを支える図書館として、一般に流通している資料以外の行政資料についても後世へ伝えていく使命を担っていることを意識し、取組を続けて欲しい。

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画　令和7年度評価シート

活動目標	4. 子どもの育ちを支援する図書館
主な取組み	①成長段階に応じた読書環境の整備・充実 ②学校・園や地域との連携 ③子ども読書活動の推進と普及・啓発

Ⅰ　図書館（本館）

1　主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1) 令和7年度の取組状況

①【成長段階に応じた読書環境の整備・充実】
- 乳幼児向け・幼児～向けにおはなし会などを実施
- 10か月健診での乳幼児とその保護者向け図書館利用案内配布
- 幼児向けブックリスト作成配布
- 児童書新刊案内発行・HP掲載
- 夏休み読書案内（幼児～小学校高学年）作成配布

②【学校・園や地域との連携】
- 幼稚園・保育園への絵本セット貸出・配本実施
- 小学校への定期配本・調べ学習用図書貸出配本
- 小学校1年生対象図書館利用説明出前
- 小学1年生対象図書館利用案内配布
- 小学2～3年生対象図書館案内出前
- 小学2～3年生図書館見学受入
- 学校・園・小中学校初任者研修などでのおはなし会や出前講座実施
- 幼児向け・小学校低学年・中学年・高学年ブックリスト配布
- 移動図書館小学校スポット巡回の実施
- 中学校1年生ブックリスト配布
- 中学生対象図書館利用案内配布
- 中学校へのセット貸出・配本　3校
- 中学生職業体験受入れ　2校
- 学校図書館リニューアル支援　5校9回
- 児童館へのセット貸出の実施　5館
- 子育て総合支援センターへのセット貸出実施

③【子ども読書活動の推進と普及・啓発】
- 出前講座(児童館での絵本講座等の実施)
- 商業施設への出前おはなし会
- 季節に合わせた催しの実施、季節ごとのテーマ展示
- 関慎太郎氏写真展・講演会実施
- 小学校高学年～中学生対象事業の実施
- 人形劇団公演
- としょかん児童サービス連続講座の実施

(2) 課題と今後の展開

①
- 子どもの読書環境の整備
- 本と親しむ契機となるおはなし会の充実

②
- 子ども読書活動推進のため、学校・園と連携した読書環境整備の支援
- 子どもが地域で気軽に本に触れることができるよう子育て関連施設等への支援
- 小中学生の読書離れへの施策

③
- 児童サービス関連講座の継続的な実施
- 子どもを取り巻く大人に向けた読書活動の推進と普及・啓発

(3) 令和8年度事業計画

①②③とも　令和7年度の事業全て　継続

①【成長段階に応じた読書環境の整備・充実】
- 「はじめてのえほんセット」の貸出　新規

②【学校・園や地域との連携】

・児童館へのセット貸出実施　継続

・子育て支援総合センターへのセット貸出実施　継続

・児童関連施設への利用案内・おはなし会「おはなしカタツムリ」実施　継続

・小中学校・児童福祉施設への出前おはなし会「おはなしツバメ便」実施　継続

・小学生向け「としょかん探検隊」事業の実施　継続

・中学生向けセット貸出・配本の実施　拡充

・小学校高学年～中学生向け事業の実施　継続

・移動図書館さざなみ号小中学校スポット巡回ツバメ便プラス　実施　新規

③【子ども読書活動の推進と普及・啓発】

・児童サービス関連講座の実施　継続

2　指標　（単位：冊、回）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績（前年度比）	達成率	目標
児童図書貸出冊数	283,741	290,000	271,071（95.5%）	93.5%	286,000
学校・園への団体貸出冊数	27,014	27,000	25,048（92.7%）	92.8%	27,000
児童サービス事業（おはなし会等）の回数	272	260	258（94.9%）	99.2%	270

3　自己評価	達成状況	B

乳幼児から小学生まで対象ごとにお話会を実施し、季節ごとに興味をひくような展示を工夫した。また、気軽に参加できる催しを企画し、来館を促すことができた。

小学校高学年～中学生向けの事業では予想を上回る参加があり来館のきっかけとすることができた。

園・学校に向けセットの定期貸出とリクエストについて配本を行い、図書室のリニューアル支援を実施することで子どもの読書環境の充実を図った。PRにより更に乳幼児向け・小学校向け出前講座が増加した。

子どもと本に関わる大人に向け、出前講座や、児童サービス関連の連続講座を実施し、子どもの読書への理解を深めてもらうきっかけとすることができた。

Ⅱ　北図書館

1　主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1) 令和7年度の取組状況

①【成長段階に応じた読書環境の整備・充実】

・乳幼児、幼児～児童向けおはなし会等の実施

・堅田児童館での出前おはなし会・ミニ絵本講座実施

・夏休みのおすすめ本ブックリスト作成・配布

・2～3歳向けブックリスト配布

②【学校・園や地域との連携】

・小学3年生一日図書館員実施　（計8人）

・小学2年生対象出前図書館案内の実施

・小学3年生図書館見学の受入れ　（伊香立小・堅田小）

・中学2年生職業体験受入れ　（堅田・伊香立・真野・志賀・仰木中）

・小中学校への定期配本や調べ学習図書の貸出し・配本

・児童館、児童福祉関連施設等への団体貸出の実施

③　【子ども読書活動の推進と普及・啓発】

・学校や児童館への出前講座の実施

・季節に合わせた利用促進のための催しを実施

・図書館職員とボランティア共同でのおはなし会実施

(2) 課題と今後の展開

①　年齢に応じたブックリストの作成

②　学校・園・子育て関連施設との連携推進

③　本と図書館に親しむきっかけとなるよう、気軽に参加できる催しの実施

(3) 令和8年度事業計画

①②③とも　令和7年度の事業すべて	継続
① ブックリストの作成	継続
乳幼児向けおはなし会の実施	拡充
乳幼児向け「おたんじょうびパック」実施	新規
② 一日図書館員事業	継続
図書館見学受入れ	継続
職業体験受入れ	継続
小中学校図書館リニューアル支援	継続
小中学校への団体貸出・定期配本	継続
③ 夏休みスタンプラリー	継続
きたかんどくしょマラソン	継続
児童向け北図書館利用案内の改訂	拡充

2　指標　（単位：冊、回）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績（前年度比）	達成率	目標
児童図書貸出冊数	155,473	150,000	149,237（96.%）	99.5%	151,000
学校・園への団体貸出冊数	10,172	6,000	12,357（121.5%）	206.0%	10,000
児童サービス事業（おはなし会等）の回数	51	45	52（102.%）	115.6%	50

3　自己評価　　達成状況　A

ボランティア団体及び職員によるおはなし会を定期的に開催することで、子どもたちが本に親しむきっかけとすることができた。
また、近隣の学校・園等への団体貸出・定期配本や出前講座を実施し、子どもたちが身近に本に触れることができるよう努めた。

Ⅲ　和邇図書館

1　主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1) 令和7年度の取組状況

① 館内展示、事業の開催、新刊案内や読書案内等の作成
- 乳幼児・児童向け定例おはなし会の開催
- 乳幼児健診でのおはなし会のチラシ配布
- 児童書新刊案内「くらぽ」、「夏休み読書案内」の作成・配布
- 「かがくえほんのおはなしかい」「わらべうたのおはなしかい」の定期開催
- 「はじめてのえほんセット」の貸出(再掲)

② 学校・園・地域の子ども向け事業への団体貸出、出前講座
- 近隣公民館での乳幼児とその保護者向け事業への参加（再掲）
- 近隣の学校・園への移動図書館の巡回（再掲）
- 学校・園、児童クラブ等への団体貸出
- 小学校への出前講座
- 調べ学習支援図書・並行読書用の図書の購入
- 小学校施設見学・職業体験の受入、一日図書館員の開催

③ 子ども読書活動推進のための事業の実施
- 学校司書の研修会への参加
- お正月「本のふくぶくろ」（子ども向け）の開催（10袋20冊配布）
- 子ども読書週間での行事開催（再掲）

(2) 課題と今後の展開

① 乳幼児とその保護者が来館しやすいような雰囲気づくり。
おはなし会の周知・広報（SNSの活用）
小学生の調べ学習の支援、読書のきっかけづくり
読書の機会が少なくなる高学年や中学生向けの事業を行い、読書のきっかけを作る。

② 子どもたちが本に触れられるよう、移動図書館を活用し、より多くの施設へ本を届けられるようにする。
学校・園に向けた移動図書館利用のPRと行事の広報
公立の学校・園以外にも図書館利用をPRする。
子育て支援施設との連携を図り、配本・出前講座などの案内をして図書館の利用を促進する。

③ 子ども読書活動推進のための講演会や講座を行い、子どもの読書についての理解を深める。
子ども読書週間など読書関連の事業を行い、子どもの読書についての啓発を行う。

(3) 令和8年度事業計画

① 館内展示（再掲）	継続
「くらぽ」「夏休み読書案内」の発行（再掲）	継続
「おはなしかいケロケロ」「ぴよぴよおはなしかい」「おはなしかい」等の開催	継続
「かがくえほんのおはなしかい」「わらべうたのおはなしかい」の開催	継続
「はじめてのえほんセット」の貸出	継続
② 学校・園・地域の子ども向け事業への団体貸出	継続
学校図書館への支援	拡充
③ 子ども読書活動推進のための事業の実施	継続

2 指標 （単位：冊、回）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績（前年度比）	達成率	目標
児童図書貸出冊数	86,852	95,000	86,194 (99.2%)	90.7%	50,000
学校・園への団体貸出冊数	10,455	12,000	11,951 (114.3%)	99.6%	11,000
児童サービス事業（おはなし会等）の回数	58	45	75 (129.3%)	166.7%	40

3 自己評価 達成状況 B

利用者からの声を受け、気軽にえほんの読み聞かせを始めてもらえるように乳幼児向けの「はじめてのえほんセット」を12セット作成した。中には3冊のおすすめの絵本とおはなし会のチラシ、わらべうたや絵本の紹介のチラシを入れ、借りた方に読書記録ノートをプレゼントしている。利用状況をみながら、今後も続けていきたい。
子ども読書推進のための講演会などは実施できなかったが、「わらべうたのおはなしかい」や「かがくえほんのおはなしかい」の定例化など既存の事業の充実を図った。

4 図書館協議会の意見（総評） 達成状況 B

図書館から園や学校へ出向き、おはなし会や講座を数多く開催し、小さい頃に本と繋がるきっかけづくりとしての取組や図書館の利用案内などの情報発信を実施している。また、団体貸出冊数も多く、図書館司書職員が選書して届けていただけるのはとてもありがたい。
共働き世帯が増加し、「平日の午前中の子ども連れの利用者数」にも変動がみられると思う。どのようなアプローチができるか、時代に対応した有効な児童サービスの推進を期待する。
評価としては、様々な取組やサービスが貸出冊数に繋がらず、指標の目標値に達していないためB評価とするが、教育現場は図書館からの手厚い支援が大きな支えとなっており、各取組内容は高く評価する。

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画　令和7年度評価シート

活動目標	5. 市民とともにつくる図書館
主な取組み	①課題発見と解決への支援 ②ボランティア活動の推進 ③市民協働の推進

Ⅰ　図書館（本館）

1　主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1)　令和7年度の取組状況

①　1階・2階フロアでのテーマ展示実施　（一般向け59回、児童向け21回）
　市役所各所管課や地域団体との連携展示23回（一般展示の内数）

②　ボランティア活動の推進
　・学生ボランティアの受入れ（学生のキャリア形成及び職場体験による次世代育成支援）
　・としょかんまつり、定例行事、湖都の葉おはなし会におけるボランティア団体との連携事業の開催

③　市民協働の推進
　・「大津おはなしのとびら」によるおはなし会実施、おとなのためのおはなし会の実施ほかおはなし会ホゥホゥ＋の実施
　・朗読ボランティア「サークルDo」によるとしょかんまつり「おとなのための朗読会」の実施（再掲）
　・バリアフリーシネマサロンにおいてボランティア募集の実施
　・まちかどぶんぶんかん事業実施による本とひととまちをつなぐ事業の実施
　・文学のまち大津を目指した「湖都の葉マルシェ」への参画（再掲）
　（図書館のリサイクル本譲渡会、大津百町館でのボランティア団体によるおはなし会の開催）

(2)　課題と今後の展開

①　滋賀県及び大津市に関する資料の充実とテーマ展示の充実および積極的な情報発信
　地域や市役所各所管課と連携した課題解決支援につながる取組の推進

②③ としょかんまつり・定例行事等におけるボランティア活動の展開

(3)　令和8年度事業計画

①　1階・2階フロアでのテーマ展示実施
　・課題解決支援につながる市役所関係各所管課と地域との連携事業　　継続

②　ボランティア活動の推進
　・としょかんまつりや定例行事等におけるボランティア活動の推進　　拡充
　・学生ボランティアの受入　　継続

③　市民協働の推進
　・読書ボランティア団体や地域団体との協働による図書館事業の実施　　継続

2　指標　（単位：者）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績（前年度比）	達成率	目標
図書館事業の協働事業者数	11	10	11（100.%）	110.0%	10

3　自己評価	達成状況	A

ボランティア団体やまちづくりなど市民協働事業者との図書館での連携事業者数は目標を達成することができた。
今後も地域で活動するボランティア団体やまちづくり事業を推進する事業者等と連携しながら図書館事業の推進していきたい。

Ⅱ　北図書館

1　主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1)　令和7年度の取組状況

①　・1Fフロアでのテーマ展示実施（一般向け　20回　児童向け　48回）
　　・庁内関係所管課との連携展示（7回）

②　図書館ボランティアの受入れと活動推進のための情報発信
　　・ボランティア団体による定期的なおはなし会の開催
　　・ボランティア活動による本の修理・排架等

③　・ボランティア団体（たーたか・コロボックル）によるおはなし会の開催
　　・登録ボランティアによる書架整理・図書修理等の実施

(2)　課題と今後の展開

①　課題発見と解決支援のためのテーマ展示実施

②　ボランティア活動参加者の増加

③　読書ボランティア団体との協働事業推進

(3)　令和8年度事業計画

①　毎月のテーマ展示実施	継続
庁内関係各所管課・地域との連携	継続
②　図書館ボランティアの受入れと活動推進のための情報発信	拡充
③　児童サービスボランティアとの協働事業実施	継続
北図書館友の会との協働事業の推進	継続

2　指標　（単位：者）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績（前年度比）	達成率	目標
図書館事業の協働事業者数	21	20	21（100.%）	105.0%	10

3　自己評価　　達成状況　A

ボランティア団体によるおはなし会や図書館の登録ボランティアによる書架整理等を実施し、市民協働の推進に努めた。

Ⅲ　和邇図書館

1　主な取組みの成果・課題と今後の展開

(1)　令和7年度の取組状況

①　館内展示（再掲）
　　・課題発見と解決支援につながるテーマ本の展示
　　・市の施策推進にかかる庁内所管課との連携（再掲）

②　・サークル主催の講演会（能美舎　堀江昌史さん）の共催
　　・配架・書架整理等ボランティアの募集(3名）
　　・蔵書点検ボランティアの募集（3名）

③　・志賀おはなしの会による「ぴよぴよおはなしかい」「おはなしかい」の開催
　　・朗読の会「燠」による「テープ版図書館だより」「テープ雑誌燠」の作成
　　・サークル主催の講演会（能美舎　堀江昌史さん）、の共催（再掲）
　　・サークル協議会への参加

(2)　課題と今後の展開

①　利用者の課題発見と解決支援につながるような様々なテーマの本を紹介していく。
　　社会的な課題の解決への支援のため、積極的に庁内所管課と連携した展示を行う。（再掲）
　　積極的なフロアワーク・カウンターワークから利用者の課題解決支援に取り組んでいく。

② 活動推進にかかる情報提供・情報共有

配架・修理、蔵書点検等、個人ボランティアの募集

③ おはなし会や館内行事等読書ボランティア団体との協働事業の推進

(3) 令和8年度事業計画

①	館内展示（再掲）	拡充
②	配架・蔵書点検等ボランティアの募集	拡充
③	志賀おはなしの会による「ぴよぴよおはなしかい」「おはなしかい」の開催（再掲	継続
	朗読の会「燠」による「テープ版図書館だより」の作成（再掲）	継続
	サークル協議会への参加	継続

2 指標 （単位：者）

指標名	令和6年度	令和7年度			令和8年度
	実績	目標	実績（前年度比）	達成率	目標
図書館事業の協働事業者数	6	5	8（133.3%）	160.0%	6

3 自己評価	達成状況	A

展示はミニ展示を含め3か所で行っている。今後も引き続き、新たな本との出会いをつくれるような展示を工夫していきたい。
サークル協議会との共催事業を行い、多くの方の参加があった。
今年度は年間を通して3名の方に図書館ボランティアとして活動いただいた。配架などを通してさまざまな図書館の仕事を知ってもらうことができた。また、加えて蔵書点検のボランティアも3名来ていただき、蔵書点検の目的などについてご理解いただいた。

4 図書館協議会の意見（総評）	達成状況	A

学生ボランティアの受入れでは、学生が実際に市民や職員と接することで、学ぶ機会や活動の場を与えていただき、双方で貴重な経験となっている。
行政サービスの一つとして図書館があり、市民とともにつくる図書館として、貸出数や実利用者数のように数値により表して評価できるものに対し、一方で数値化して表せない取組も同様に大切であるものの、できるだけこれらの数値を上げていくための工夫は必要である。